

平成24年度公益財団法人山形県体育協会事業報告

1 スポーツ振興に関する事業

(1) 生涯スポーツの推進

- ①地域体育協会の活性化を図った。
- ・地区体育協会連絡協議会への活動支援（8地区）
 - ・市町村体育協会との連携

- ②総合型地域スポーツクラブの活性化を図った。
- ・総合型地域スポーツクラブへの活動支援
 - ・クラブリーダーの育成

(2) スポーツ指導者の養成と活用

- ①スポーツ指導者養成講習会を開催した。

- ②県スポーツ指導者研修会を開催した。

期日：平成24年10月27日（土）10：00～

場所：県総合運動公園 2階大会議室

内容：講演Ⅰ「本番に強くなる」

福島大学 白石 豊 氏

講演Ⅱ「ジュニア期のフィジカルトレーニングと障害予防」

早稲田大学 広瀬統一 氏

講演Ⅲ「真のチャンピオンのために」

県体育協会 池田めぐみ 氏

- ③県スポーツ指導者連絡協議会との連携を図った。

- ④べにばな国体20周年記念事業「山形のスポーツ、躍進を目指して」の開催を実施した。

《Part 1》「勝つことの意義」～競技力向上の基礎づくり～

平成24年4月24日（火）：山形県総合運動公園（天童市）

- ・講演「競技力向上に向けた取り組みについて考える」

講師：勝田 隆氏（筑波大学客員教授・仙台大学教授）

- ・シンポジウム「勝つことの意義」

コーディネーター：大神訓章氏（山形大学教授・山大バスケットボール部監督）

パネリスト：齋藤 学氏（左沢高剣道部監督）

吉田 進氏（山形城北高陸上部監督）

佐藤裕恒氏（山形南高バレーボール部監督）

木村文浩氏（谷地高カヌー部監督）

椿 央氏（山形中央高スケート部監督）

《Part 2》「躍進！やまがたの子どもたち」～少年スポーツの振興～

平成24年6月30日（土）：山形県総合運動公園（天童市）

- ・子どもたちのランニングクリニック

講師：五十嵐徹氏（山形北高陸上部監督）

熊坂香織氏（スポーツ山形21）

田中 幸氏（スポーツ山形21）

- ・トーク「躍進・山形の子どもたち～強くなるヒント」

トークリーダー：池田めぐみ氏

(県体育協会スポーツ指導員／フェンシング・アテネ、北京両五輪出場)
メンバー：加藤条治選手(スピードスケート・バンクーバー五輪銅メダル)
三澤樹知氏(北京五輪新体操女子団体主将)
村田久忠氏(県スポーツ少年団本部長)

《Part 3》「広いスポーツ裾野からのトップアスリートの育成」
～山形県全体のスポーツ振興～

平成24年11月23日(金)：「遊学館」大ホール(山形市)／山形グランドホテル

・講演「スポーツが持つ力」

講師：宮嶋泰子氏(株式会社テレビ朝日ディレクター兼アナウンサー)

・シンポジウム「広いスポーツ裾野からのトップアスリートの育成」

コーディネーター：佐藤通隆氏(県体育協会理事兼スポーツアドバイザー)

パネリスト：栗木一広氏(仙台大学体育学部教授)

鈴木朝夫氏(寒河江市総合スポーツクラブ会長)

佐久間陽子氏(左沢高校教諭)

池田めぐみ氏(県体育協会スポーツ指導員)

永井 悟氏(山形銀行人事部長)

・「山形スポーツ飛躍の集い」

(3) 普及事業の推進

- ① 県縦断駅伝競走大会への支援を図った。
- ② 県少年少女スポーツ交流大会への支援を図った。
- ③ 県高等学校体育連盟・県中学校体育連盟への支援を図った。

(4) 競技団体活動の支援

国体正式競技以外の18競技に対して活動支援事業を行なった。

(5) 企業スポーツ活動への支援

企業スポーツの育成と活性化を図るため、「山形県企業スポーツ振興協議会」へ支援を行った。

(6) 顕彰に関する事業

本県スポーツの発展に貢献した個人・団体に対し、本会表彰規程に基づき、次の表彰を行った。また、表彰式は県スポーツ賞授賞式と合同で実施した。

- ① 殊勲賞 44
- ② 奨励賞 20
- ③ 功労賞 15・ライオンズスポーツ賞 3
- ④ 感謝状 0
- ⑤ 特別賞 1(世界剣道選手権大会 個人団体優勝 佐久間陽子氏)

(7) 広報に関する事業

- ① ホームページの充実を図り、体協活動の積極的な情報を提供した。
 - ・ 体協活動の発信
 - ・ 協賛企業・会員の募集等
- ② 県体協機関紙「スポーツ山形」96・97号を発行した。
- ③ スポーツ少年団広報紙「大空に翔る」29号を発行した。
- ④ 体協要覧2012を作成した。

(8) 山形県スポーツ会館管理事業

本県スポーツ団体の拠点施設として、適切な管理運営を行った。

2 少年スポーツの振興に関する事業

ジュニアスポーツの活性化と青少年の健全育成を目標に事業を推進した。

(1) スポーツ少年団の普及と活動の充実

①指導者の育成と指導者組織の充実を図った。

有資格者 3,981名

②関係機関・団体との連携の充実を図った。

③リーダーの養成と活動環境の充実を図った。

④各種交流事業の充実を図った。

山形県スポーツ少年大会 68名参加 7月28日～30日

東北地区スポーツ少年大会 8名参加 8月2日～5日

全国スポーツ少年大会 9名参加 8月4日～7日

⑤各専門委員会活動の活性化を図った。

企画委員会 3回開催

普及委員会 2回 //

活動委員会 2回 //

指導育成委員会 3回 //

⑥少年少女交流大会を開催した。

10月7日(主会期) 16種目 4,660名参加

(2) 青少年の健全育成

①加盟団体があらゆるスポーツ活動の機会を通して、「フェアプレー精神」の高揚を図った。

②環境に配慮するスポーツマンの育成を図った。

3 競技力の向上に関する事業

全国大会及び世界で活躍する選手の育成支援を図った。

(1) 国民体育大会及び東北総合体育大会に係る事業

①第67回本国体県予選会・第68回国体冬季大会県予選会を開催した。

第67回本国体県予選会

・主会期 7月13日(金)～15日(土) (県内各地)

37競技5,498名参加(昨年6,254名)

第68回国体冬季大会県予選会

・アイスホッケー 11月5日(日)～5日(日) (ヒルズサンピア山形)
58名参加

・スケート 12月8日(土) (山形市総合スポセン)
19名参加(昨年18名)

・スキー 平成25年1月13日(日)～26日(土)

ジャイアントスラローム(蔵王温泉スキー場)

101名参加(昨年129名)

クロスカンントリー (坊平高原クロカン競技場)

66名参加 (昨年64名)

ジャンプ・コンバインド (蔵王温泉スキー場、坊平高原クロカン競技場)

15名参加 (昨年14名)

②第39回東北総合体育大会

・主会期 8月17日(金)～19日(日) (秋田県)
705名参加 (昨年703名)

③第67回本国体・第68回国体冬季大会

・第67回本大会 9月29日(土)～10月9日(火) (岐阜県下)
32競技497名参加 (昨年33競技488名)
天皇杯得点883点、第28位 (昨年42位)
皇后杯得点480点、第27位 (昨年33位)

・第68回国体冬季大会

スケート 平成25年1月25日～2月1日 (福島県)
28名参加

アイスホッケー 平成25年1月25日～2月1日 (東京都)
参加なし

スキー 平成25年2月16日～2月19日 (秋田県鹿角市)
84名参加

天皇杯得点132点、第9位 (昨年12位)

皇后杯得点32点、第19位 (昨年18位)

④強化環境の整備を図るために、強化コーチングスタッフ及び強化指定選手の指定を行なった。

549名 (監督・コーチ85名、選手374名)

(2) スポーツ医科学支援体制の充実

①国民体育大会・東北総合体育大会へ帯同ドクター・帯同トレーナーの派遣を行い、医科学的サポートを行った。

②アンチ・ドーピング啓発を行った。

③日本体育協公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレティックトレーナーの資格取得促進と活用を図った。

④「スポーツ医科学研究報告書」を作成した。

(3) 優秀指導者・選手確保事業

優秀指導者・選手をスポーツ指導員及びスポーツ技術員として確保し、本県の競技力の向上を図った。

(4) 競技強化支援事業

競技スポーツの普及・強化を図るために、スポーツ関係団体が実施する事業を支援した。

(5) 国際競技大会出場監督・選手への激励を実施した。

(6) スポーツタレント発掘事業への支援

将来のトップアスリート育成を計画的に実施する「スポーツタレント発掘事業」への取り組みと支援を行った。

4 財政の確立と組織体制の充実

(1) 財政基盤の確立

将来を見通した計画的な運営を行うとともに、賛助会員の拡大等を精力的に推進した。

5 その他

(1) 東北体育協会連合会の運営

(平成23年度～24年度 東北体育協会連合会会長)

東北全体のスポーツ振興を図るための企画・調整などを行なった。

《参 考》

1 開催会議等

- | | |
|---------------------------|----------|
| ① 県体協理事会 | 年2回 |
| ② 県体協評議員会 | 年2回 |
| ③ 県体協各専門委員会 | 委員会毎随時開催 |
| ④ 国民体育大会・東北総合体育大会監督会議 | 年2回 |
| ⑤ 国体県予選会実行委員会・運営委員会 | 年1回 |
| ⑥ 少年少女スポーツ交流大会実行委員会・運営委員会 | 年3回 |

2 出席会議等

- | | |
|------------------------------|-----|
| ① 日本体育協会理事会 | 年5回 |
| ② 日本体育協会評議員会 | 年2回 |
| ③ 日本体育協会加盟団体事務局長会議 | 年1回 |
| ④ 都道府県体育協会連合会総会 | 年1回 |
| ⑤ 都道府県体育協会連合会事務局長研修会（東地区： 県） | 年1回 |
| ⑥ 都道府県体育協会事務局職員研修会 | 年1回 |
| ⑦ 東北六県体育関係者会議（東北6県体育協会連絡協議会） | 年2回 |
| ⑧ スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会 | 年2回 |